

第4回美祢市総合計画審議会 議事録

日時 令和6年9月3日（火）16時30分から18時00分まで

場所 美祢市役所 301会議室

出席者

- ・出席委員12人 進士会長、藤井副会長、小林副会長、磯部委員、野原委員、折田委員
末岡委員、高須委員、松原委員、本山委員、森脇委員、山田委員
- ・欠席委員8人 井町委員、水野委員、青木委員、加藤委員、竹尾委員、田中委員、中元委員、
山本委員
- ・事務局 佐々木部長ほか5人

議事内容（要点筆記）

1 開会

事務局により開会～資料確認

2 会長挨拶

進士会長 挨拶

3 協議事項

(1) 基本構想の変更について

事務局より資料1について説明

- 会長 前回の意見を踏まえて基本理念の部分が当初の箇条書きからまとめた形で、よりコンパクトで分かりやすくまとまっている。ただ、「戦略的シティプロモーション」という言葉は、分かりづらい。そのため、ここでイメージしている戦略的シティプロモーションの用語があった方がいいかという気がする。
- 会長 未来につなげる共創 CITY とあるが、「つなげる」か？「つながる」が適しているのでは？
- 事務局 この表現としたのは、主語が市民や行政である美祢市、事業者を想定し、みんながつなげていくという主体的な意味合いで「つなげる」としている。「つながる」だと自然とそういう状況になる、自動的になるニュアンスがある。審議会でもみんなで作っていく、自分たちでつなげていく意味合いを含めて「つなげる」としている。本文中でも「つなぎます」「つなげていきます」とニュアンスを分けて表現している。
- 委員 「戦略的なシティプロモーション」とは具体的にはどのようなことか？
- 事務局 住んでもらうため、交流してもらうため、様々なプロモーションがある。基本計画や個別計画の中でも表現の違いはあるが、市内外に広報、情報発信をしていくかを説明している。戦略的としているのは、あれもこれもできない中で何に注力していくのか、住民も含めて取り組んでいくことなので、一定の目標をもって取り組む主旨と、自治体経営との整合性をとるために、戦略的と表現している。
- 会長 まちをどう宣伝するか。みんなで考える必要がある。そうすることで未来が見えてくるということで「つながる」と思うが、事務局はもっと切迫感があって、つなげないといけないと思っている。

- 委員 「健やかに子どもを産み育てられる環境づくり」から「こどもまんなか社会づくり」に変わっている。政府が使い始めた言葉であるが、固い表現だが元々の「健やかに子どもを産み育てられる環境づくり」でも良かったのではと個人的に思うがどうか？
- 事務局 当初予定がなかった基本構想の変更を諮問した経緯の中に、子ども家庭庁の設置の関係もあり、今後 5 年間の計画期間の中で、子ども関連の計画策定もあり、整合性を取る形で変更している。委員の指摘のとおり元に戻しても良いと思うが、委員の皆様の御意見は？
- 副会長 私の感覚では、子どもを産み育てられるとなると、どうしても女性に特化した表現に感じる。こどもまんなか社会づくりの方がみんなで、男女関係なく行う印象がある。
- 委員 2 ページの持続可能なまちという、「まち」とは何を指しているのか。秋吉台のまちとの違いは何を指しているのか。
- 事務局 将来像の秋吉台のまちは、秋吉台が全てではないが、美祢市のシンボリックな表現として使用。ここのまちは、美祢市を指している。市内外にうったえかける顔として秋吉台というキーワードを使って表現しているもので、当時の議論を尊重して継続的に表現している。
- 委員 まちというのが固有名詞ではなく、まちづくりという意味合いと解釈したので違和感はなかった。
- 会長 特に問題ないという意見であればこのままで進めていくということでもいいか。

(2) 第二次美祢市総合計画後期計画について

事務局より資料 2～4 について説明

- 会長 9 ページに市の強みやシティプロモーションについて記載しているが、目標指標の本市の魅力度ランキングが目標値で 600 位としている順位の母数はいくつか。
- 事務局 民間調査会社の調査数値で、母数は市町村が 1,000 で、県が 47。
- 委員 目指す目標 600 位は、大変努力しないといけないのか、そうでもないのか。山口県内で比較した方が良いのか？
- 事務局 平成 30 年度は 774 位で現状は 638 位。これまでの間で上昇しているが、今後更なる上昇となると難しいことから 600 位を目指すとしている。
- 会長 これでも分かりにくい。山口県で何位というほうが分かりやすいのでは。
- 事務局 県で何位という表現はできると思うが、地域情報の発信の施策で美祢市がどれほどの評価を得ているか、その指標が難しいことからこの指標を用いている。表現の仕方を含めて検討する。
- 委員 19 ページ、SDGs という言葉に違和感がある。美祢市での林業は、木質バイオマスが再生可能エネルギーであるとして、伐採に取り組んでいるが、担い手不足に起因して伐採に応じた植え付けが追いついておらず、結果的に SDGs に繋がっていない。森林資源の循環利用を目指す中で、再エネのためという目的を過剰視せず、伐採においても道徳的な観点を持たなければ持続性は確保できない。
- 委員 原案については問題ないが、実現しようと思った場合、18 ページの施策の行政での予算化は現実的でないと思う。遊休農地の主な取組の理想は記載しているとおりで、現実的でない中で、これを明確に表現してよいものか。表現的なものを再度検討してもらいたい。農家はいろいろやってもらえると思ってしまっているのではないか。
- 事務局 多様な主体が力を合わせて、今後 5 年間この計画に基づいて取り組んでいく中で、5

年間の計画として美祢市として実現可能な内容なのかを考えつつ、実施が難しい状況があったとして取り組むべきことは取り組むこととして掲げなければならないと考えている。農業・林業の関係でいただいた意見の観点を担当課と調整し、表現の適切さを確認しつつ、足りないものを整理する。

- 会長 KPI も記載しているが、これはどうか。
- 事務局 指標は、案を示させていただいている。指標が施策の中の取組の効果を測る視点、目標値の設定、指標自体が適切かどうかを含め調整中のものがある。
- 委員 目標指標について現状値と目標値がいつ時点のものか記載してほしい。先ほどのランキングについて、分かりにくい指標はその出典等の記載が必要ではないか。13 ページのジオパークの関係で、世界ジオパークを目指す中でイベント参加数が 5 年間で 5 人しか増えていない。適切なものか検討してほしい。48 ページなど数字が入っていないものはこれから入ってくるという認識か？
- 事務局 数字が間に合っていないものもある。今後記載する。
- 委員 要望として、65 ページの現状と課題の公共施設の複合化には、閉校した学校などが入ってくると思うが、市として閉校した学校等の施設に対してどうして行くのか主な取組に記載してほしい。
- 委員 目標指標について、それぞれ担当課が肌感覚で出した数字だと思うのでそれは尊重する。議論は、執行部に対してするのではなく、委員同士ですべきだと思う。指標の方向性について、下の矢印がついているものがある。数値が低くなる方向ではなく、指標として良くなる方向なので、矢印は上でも良いのではないかと思う。
- 会長 原案は、減少させる方がいいものは下向きに、増加させる方がいいものは上向きに矢印を示している。
- 副会長 数値の増減と指標の考えのとらえ方を一貫した方が良いと思う。
- 事務局 本部会議でも同様の意見があった。数値の変動がどうなれば良いことなのか市民の方が分かりやすいよう矢印で示している。方向性で矢印表記することで様々な意見があることが理解できたので、表現方法については改めて検討する。
- 副会長 目標値が表示されているので方向性はいらないのでは？
- 委員 それぞれの立場で認識が異なるので、方向性は必要ないのではないか。できる限り簡素化した方がいいのでは。
- 委員 方向性という矢印は良いと思う。方向性を見出しを目標に変えた方が良いかもしれない。
- 委員 目標を下げるということはないと思う。方向性は無くても良いのかと思う。
- 会長 無い方がいいとの意見が多かったということで、事務局で検討をお願いしたい。
- 委員 資料 4-2 の SDGs の表でゴールの 7 は重要だと考える。それに対して施策での位置づけが少なく、農林業の振興などもつながっているのではないかと、検討していただきたい。

(3) 第 3 期美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

事務局より資料 5・6 について説明。

- 会長 第 3 期の総合戦略は、デジタル田園都市国家構想総合戦略に対応するように作成すること、総合戦略で記載することは市にとってどれも重要なことであること、それらをしっかりまとめて、国の助成を受けるべきことは受けて進めたいとする仕組みであること。総

合戦略は、基本計画を整理して組み立ててある。

- 副会長 総合戦略がまち・ひと・しごと創生法に基づいて、国、県の計画と整合性をとりながら、交付金を活用するもととなる計画であることが説明を聞いてよく分かった。序章で基本構想から実施計画までを図示しているが、最初これを見ただけでは分からないと思う。総合戦略は、今説明があったことをどこかに記載する必要があると思う。これが国の計画と整合するものでこれをベースに計画を建てて交付金を活用していることを明らかにすることがいいのでは。美祢市とは、総合戦略だけでなく基本計画をつくっているのだから、安心してほしいという方がいいのでは。関係性が分かりにくかったのだから、どこかに、法に基づくもの、交付金の確保の前提となること、基本計画にも取組を記載していることを示したうえで、総合戦略と基本計画との関係を明記したほうがいい。
- 会長 前置きがあった方がいいのでは。
- 委員 基本計画だと総合戦略の「訪れたい、参加したい、住んでみたい！」新たな人の流れの創出の内容が1番目、総合戦略だと「働きたい！」希望を実現させる産業の振興が1番目。総合戦略の目標の順番は基本計画との関係性に何かあるのか。
- 事務局 国の総合戦略の項目の順番に合わせている。前回の会議でも市として取り組むべきことの優劣の順番の指摘があったが、市としてやるべきことはどれも重要であることから意図して順番に優劣をつけるべきでないと考えている。
- 会長 総合戦略の指標の方向性も基本計画と同様に検討をしていただきたい。

(3) その他

事務局より資料7のスケジュールについて説明。

次回の会議：令和6年11月12日（火） 10時00分～

今回で任期満了となる委員の挨拶

4 閉会

事務局より閉会の挨拶。